

勉強会を開催してまちの歴史を知る (三木市)

活用資源	まちなみ、町家、歴史、特産品
取組主体	三木市

概要

- ・三木市三木地区は、三木城の城下町で、戦国時代に三木合戦で荒廃したものの、羽柴秀吉によって復興された歴史を持っています。湯の山街道等の街道が交差する交通の要衝に位置し、江戸時代後期には「三木金物」の生産地として金物産業が発展、現在でも街道沿いに金物のまちを今に伝える伝統的な町家等が残っています。
- ・しかしながら、旧市街地の人口減少や高齢化が進んでおり、地域の活性化が求められています。そこで、まちに残る歴史的な資源を活用し、三木地区ならではのまちづくりを行っていくため、みんなでまちの将来像を描き、取組目標を共有できるビジョン作成に取り掛かることになりました。
- ・まずは、市役所関係課により取組をスタートさせ、改めてまちを知るための各部署からの情報提供や取組アイデアを考える勉強会を開催しました。
- ・歴史的な資源を活用したまちづくりというテーマのもとで、複数の部署が集まり、勉強会を重ねたことで、取組体制の連携が図られました。

ポイント

ココが
コツ！

- ・「出来ることからやってみよう」という考えのもと、まちづくり・企画・観光・歴史の分野で関係する担当者による勉強会を実施しました。そこでは、関係課が把握していた情報の共有や意見交換を行い、今後の取組方策の検討につなりました。
- ・まちの歴史や人口・高齢化の状況を調べ直し、まちづくり活動の状況について情報共有を行ったほか、まちにある歴史的資源の新しい価値や活かし方について話し合うことで、新たな取組アイデアの検討へとつなりました。
- ・勉強会では、県担当者や専門家（まちづくりコンサルタント）がファシリテーターを担うことで、活発に話し合える場をつくりだし、出席者の意見や考えを新たな取組のアイデアにまとめることができました。



勉強会の様子

この事例をもっと知りたい場合

三木市都市政策課



TEL 0794-82-2000

HP <https://www.city.miki.lg.jp/>

SNS  @miki_city_toshi